

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成19年度事業分)

施設名	山梨県立科学館					
指定管理者	財団法人 山梨県青少年協会					
指定期間	平成18年4月～平成21年3月					
施設の使命・役割(運営目標)	県民の科学に対する関心を高めるため、常設展示・企画展などにより科学をわかりやすく紹介し、科学のあり方を考えていく場を提供すること 主催事業の実施を通じて、常設展示等では十分に紹介できないテーマ等について、わかりやすく紹介し、科学への理解を深める機会を提供すること 小中学校・高等学校等と連携し、理科教育をより専門的、効果的に行うための学校教育を支援すること					
指定管理者が行う業務	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 施設の利用に関する必要な助言、指導等に関する業務 科学に関する展示及び講演会、催し等の実施に関する業務 その他教育委員会が必要と認める業務					
維持管理業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	・計画書に基づき適正に管理した。 ・非常用発電機の保守点検が未実施であった。 ・一部の展示で、修理の対応ができず、利用者に不便をかけている。	・概ね計画に基づき、適切に実施されていた。 ・点検の結果、指摘された箇所は早急に対応すること。 ・保守点検漏れのないよう注意すること。				
運営業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	・計画書に基づき適正に実施した。 ・主催事業 遊びの部屋で子育て支援事業等を行い好評であった。 実験工作では、成人向け事業の参加者数に課題あり サイエンスコンテナの回数増に努めた。 天文事業では、ライトダウン甲府パレード・サイエンスカフェ ・星つむぎの歌完成披露ライブ&トークで全国的話題となった。 展示では、特別展「風鈴科学館」武田忍者屋敷」が大好評。 収入増により企画展「巨大ロボット昆虫園」を実施、大好評。 ・学習利用者数は増加したものの、団体数では、目標に達しなかった。	・概ね良好に運営業務が執行されていた。 ・主催事業については、計画書以上の成果をあげた事業もあり、良好であった。 ・引き続き事業計画書等に沿った適正な業務執行に努めること。				
自主事業の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	陶芸指導に1名派遣した。	引き続き事業計画書等に沿った適正な業務執行に努めること。				
利用者満足度調査	調査結果	利用者の声				
	満足度 「館内設備・プログラム」での満足度 ・展示室 98% ・実験室 98% ・工作室 96% ・あそびの部屋 96% ・サイエンスショー 96% ・天体観測室 95% ・プラネタリウム番組 95% ・全天周映画 90% ・その他 96% 「館全体のサービス」の総合満足度 非常に満足 56.8% 満足 39.2% やや不満 3.2% 非常に不満 0.8% 満足度評価値=(56.8+39.2)/(56.8+39.2+3.2+0.8) = 96%	・新しい展示が見たい、壊れている展示を直してほしい。 ・展示室の説明がわかりにくい、説明スタッフがほしい。 ・料金が安い、割引料金の設定。 ・持ち込みで飲食できるスペースが欲しい。 ・聴覚障害児への配慮(映画等の字幕)がほしい。				
利用者満足度調査	評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容			
	・料金、休憩・飲食スペースについては、検討課題である。 ・アルバイト、清掃員等の対応については、指導改善した。	・満足度評価値は96%と非常に高く、良好であった。 ・利用者アンケート調査に対する積極的な取り組みの成果で、アンケート回収率が、昨年度の2倍以上となった。 ・ソフト面での意見等は、積極的に検討し、より充実したサービスを提供していくこと。 ・ハード面での意見等は、集計分析を行い、今後の検討資料とすること。				
利用者数	H18年度実績(人)	H19年度計画(人)	H19年度実績(人)	H20年度目標(人)		
	139,045	141,400	145,196	141,400		
利用実績	評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容			
	(1)入館者目標141,400人に対し、145,196人(3,796人増・2.6%増)となった。 (2)幼児の利用は、遊びの部屋事業として、幼児とその親を対象とした事業を実施し、利用拡大と将来の小中学生の利用の動機付けとした。 (3)利用者傾向としては、幼児以外の無料入館が減少し、個人、団体とも有料入館者が増加しているが、個人は、幼児の付添い父兄の増加が考えられるが、今後の分析が必要。	・利用者(入館者)数は、平成19年度計画を上回る実績であった。 ・あそびの部屋事業への積極的取り組みにより、幼児の利用人数が大幅に増加した。 ・引き続き事業計画書等に沿った適正な業務執行に努めること。				
収支の状況	科目	H19年度計画額(円)	H19年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H20年度計画額(円)	
	収入	利用料金収入	38,058,000	42,229,000	-4,171,000	38,405,000
		指定管理料	352,665,000	352,665,000	0	346,533,000
		その他収入	5,543,000	8,427,000	-2,884,000	5,454,000
		計	396,266,000	403,321,000	-7,055,000	390,392,000
	支出	396,266,000	403,207,000	-6,941,000	390,392,000	
差し引き(収入-支出)	0	114,000		0		
評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価				
	・特別展、企画展及び事業規模拡大による利用増が図られ、それに伴う利用料金の増加が図られた。 ・売店等事業収入についても、イベントに併せた商品等を置くなど、収入増が図られた。 ・燃料費、光熱水費などの節約。委託料、使用料などの契約方法等による削減を図り、事業運営や設備維持に当て、利用者サービスを図った。	・事業内容の改善や新規事業等の指定管理者の努力により、利用料金収入が昨年に引き続き増加となった。 ・収入増加により事業運営や修繕等に経費をあて、利用者サービスに還元された。 ・引き続き収入増を図るとともに、経費削減に努めること。				
施設の運営目標の達成状況	運営目標4項目中3項目は大幅に目標値を上回ったので、概ね目標を達成した。 入館者数 目標値141,400人 実績値145,196人 プラネタリウム観覧者数 目標値45,200人 実績値46,228人 主催事業参加者 目標値66,900人 実績値71,851人 学校利用回数 目標値320回 実績値313回 は目標回数より7回減ではあるが、出前講座(サイエンスコンテナ28回)を増やしたことで、利用者人数は、増加している。 (H19実績 16,627人 H18実績 14,826人)					
総合的な評価及び改善事項	各種事業の取り組みにより、前年度に引き続き今年度も目標入館者数を大幅に超えたことは評価に値する。 維持管理業務・運営業務については、適正に実施されており、引き続き、業務の確認・改善に努めること。 利用者満足度調査については、評価(満足度)が良好であり、また積極的取り組みによりアンケート協力者が倍増した。引き続きアンケート協力者確保に努めること。					